

可搬型情報通信拠点 可搬型ICTユニット

大規模災害により既存のインフラが使用できない状況に於いてICT環境を即時構築

概要

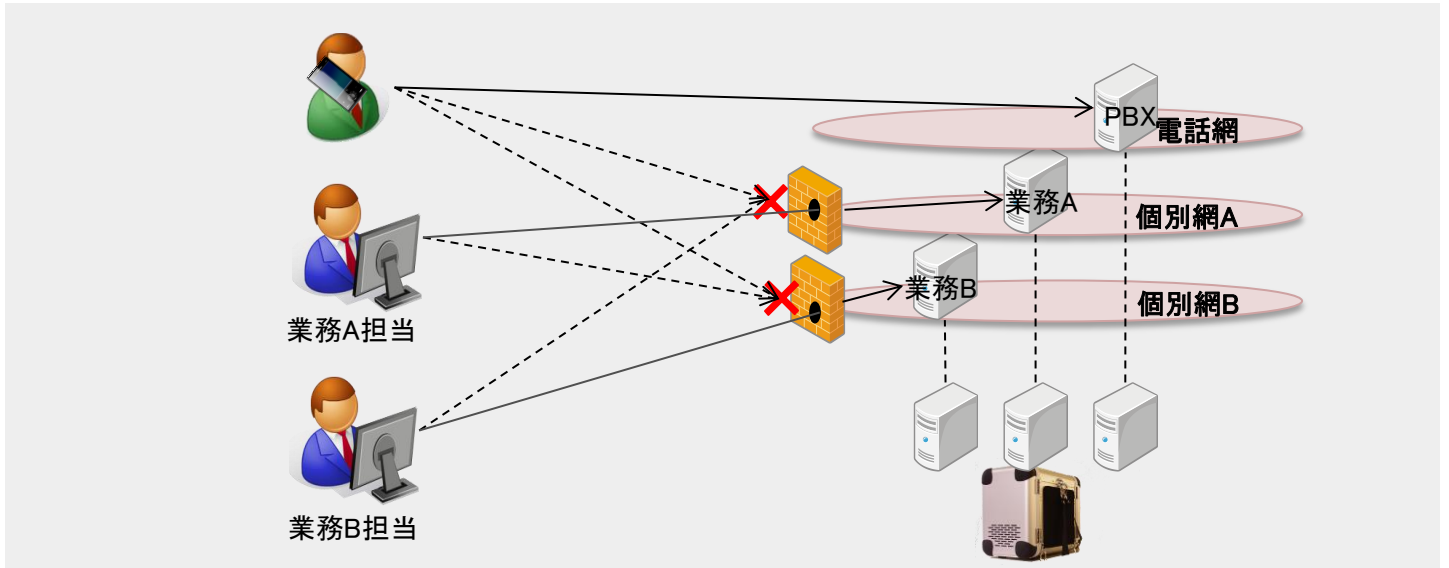
可搬サイズのケース内にサーバ機能、ネットワーク機能、バッテリーを搭載することで、あらゆる場所でICT環境を構築します。

特徴

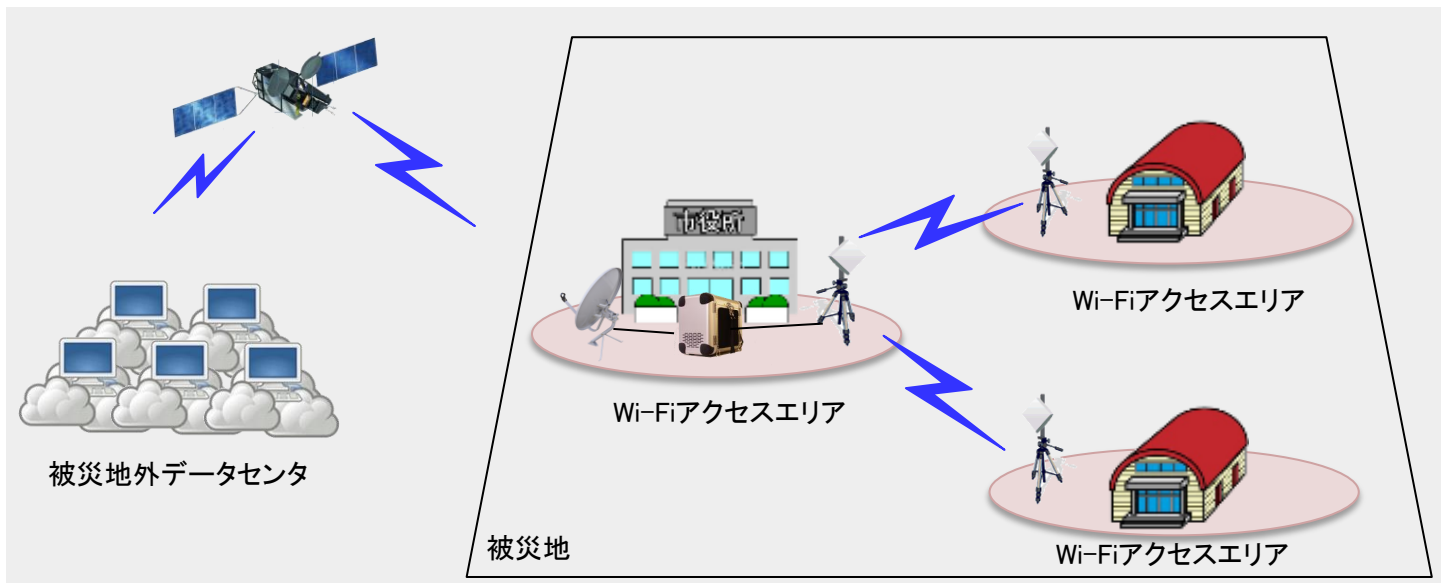
- あらゆる場所においてICT環境を構築
 - ・ バッテリーを搭載しているため商用電源が確保できない環境でも運用可能です。
- 様々なサービスを提供可能
 - ・ 仮想サーバ(VM)環境上でアプリケーションの実行が可能で、様々なサービスが提供できます。
 - ・ IP-PBXにより通話サービスが提供可能です。(IP電話機接続50台～)
 - ・ ファイルサーバにより情報共有サービスが提供可能です。
 - ・ 各アプリケーションは仮想ネットワークにより分割され、セキュアな運用が可能です。
- ネットワークの拡張性
 - ・ アクセスにはWi-Fiを使用するので、スマートフォンやPCが利用できます。
 - ・ BWA等中継無線によりアクセスエリアの拡大が可能となります。



■ 仮想ネットワーク/仮想サーバ技術によるセキュアな運用



■ BWA等中継無線によるアクセスエリアの拡張/外部ネットワークとの接続



利用イメージ



被災地における活用



インフラ未整備エリアにおける活用